



これだけは見ておきたい

Just look at this one!
History of Japanese Western-style painting

日本洋画の歩み

2023.
7.8^土~
9.24^日



栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

[開館時間] 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
[休館日] 月曜日(祝日の場合は開館)、7月18日、9月19日
[観覧料] 一般・大高生 800(640)円 / 中学生以下無料

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町 7-26 TEL: 0282-25-5300

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料 *()内は20名以上の団体料金
*企画展の料金で、収蔵品展を無料観覧できます

[主催] 栃木市教育委員会、栃木市立美術館 [協力] 公益財団法人日動美術財団

[後援] 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送

上段左から、すべて部分図、笠間日動美術館蔵 萬鉄五郎《赤マントの自画像》、岡田三郎助《裸婦》、和田英作《近江石山寺紫式部》、青木繁《二人の少女》、長谷川利行《男の像》、曾山幸彦《洋装少年》、岸田劉生《村娘の図》、黒田清輝《黒田清兼像》、岸田劉生《麗子の像》、高橋由一《丁髷姿の自画像》、高橋由一《鮭図》、山下りん《ヤコブ像》、岸田劉生《自画像》、久米桂一郎《習作》、百武兼行《ブルガリアの女》、五姓田義松《人形の着物》

同時開催 収蔵品展I 一般・大高生 330(260)円 / 中学生以下無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料 *()内は20名以上の団体料金



これだけは見ておきたい *Just look at this one!*
History of Japanese Western-style painting

日本洋画の歩み 2023. 7.8(土)~9.24(日)

高橋由一《鮭図》笠間日動美術館蔵



萬鉄五郎《裸婦》
笠間日動美術館蔵



岸田劉生《丸山君の像》
笠間日動美術館蔵



清水登之《テニスプレイヤー》
栃木市立美術館蔵



藤島武二《ヴェニス風景》
笠間日動美術館蔵



佐伯祐三《パリの街角》
笠間日動美術館蔵



安井曾太郎《実る柿》
笠間日動美術館蔵



ラファエル・コラン《婦人像》
笠間日動美術館蔵

幕末から明治にかけて、西洋から入ってきた絵画は日本の美術に大きな変化をもたらしました。紙や絹を用い、墨と繊細な色彩による情感豊かな絵画に親しんできた当時の日本人にとって、西洋画法は実物と見まがうばかりの再現描写を可能とする驚異の技術でした。なんとしてもその技術を日本にも取り入れたいと、高橋由一たち初期の洋画家たちは苦心してその画法を学んだのです。

明治時代には、西洋に留学する画家も多くなります。黒田清輝らは、印象派の画風を取り入れたアカデミズム絵画を学びました。帰国後は東京美術学校(現在の東京藝術大学美術学部)で後進を指導、日本の洋画教育に大きな影響を与えました。

大正時代には最新の西洋の動向も次々に伝えられるようになります。キュビズムやフォーヴィスムといった当時の前衛的な傾向を示す画家の一方で、ルネサンス絵画などの影響を受けて写実を極めようとする者、自らの個性に従い、独創的な作風を築く画家も現われました。

太平洋戦争後、前衛的な美術表現が増す中でも、絵画はその豊かな表現を広げています。この展覧会では、初期から現代まで、日本洋画の歩みを代表的な画家の作品約60点で紹介し、江戸時代にひとつの完成の域に達していた日本の美術は、西洋の美術と出会って大きく展開しました。そこにはある完成した文化の、異なる文化とのダイナミックな出会いの歴史が見られることでしょう。

[出品作家] 高橋由一、五姓田義松、黒田清輝、藤島武二、熊谷守一、青木繁、坂本繁二郎、橋本邦助、萬鉄五郎、清水登之、梅原龍三郎、安井曾太郎、岸田劉生、中川一政、東郷青児、向井潤吉、刑部人、香月泰男、鴨居玲ほか全46名

関連イベント

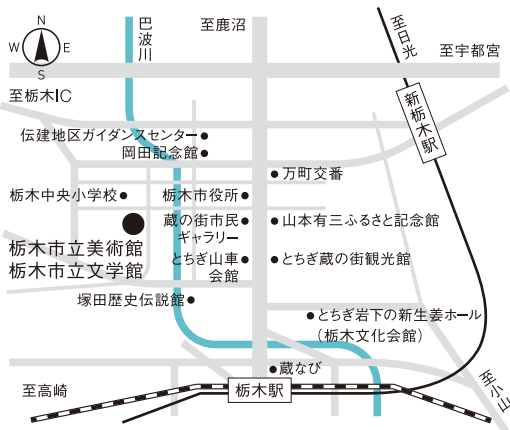
学芸員によるギャラリートーク 7月8日(土)、8月6日(日)、9月10日(日) 各回14:00~(1時間程度)

*当日の観覧券をお求めのうえ、展示室Aにお集まりください。

キッズギャラリートーク 7月29日(土) 14:00~/8月20日(日) 10:30~

対象:小・中学生(小学生は保護者の同伴必須) 集合場所:多目的室(つなてみち)

*保護者の方は当日の観覧券が必要となります



栃木市立美術館 Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町 7-26 TEL: 0282-25-5300

Twitter: @tcam_tclm Instagram: @tcam_tclm

交通アクセス

- [電車] 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
- [バス] 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
- [車] 東北自動車道、栃木ICから約10分

